

障害者福祉施設・こども誰でも通園制度・子育て支援策を学びました

行政視察報告 福祉民生常任委員会

山梨県北杜市では、廃校を社会福祉法人が利活用し障害者福祉施設の充実を図っています。視察先の旧日野春小学校は、平成25年3月に閉校後、障害福祉サービス事業所として生活介護や就労継続支援B型を行っています。施設見学をはじめ、施設の改修費や事業の運営状況等の課題なども学び、本市でも未活用となっている複数の廃校施設があるため勉強になりました。



令和7年10月22日
山梨県北杜市

令和7年10月23日
大阪府富田林市



大阪府富田林市では、来年度の全国実施を見据え、「こども誰でも通園制度」を令和6年度から試行的に実施しています。利用時間や給食の有無を保育所と調整しつつ、募集・抽選で定員管理を行い、障害のある子どもや医療的ケア児も受け入れます。本市での、来年度からの事業スタートに向け大変参考になりました。

兵庫県相生市では「11の鍵」として、住宅助成や新婚支援、給食無償化など11の施策を展開し、子育て支援を図り、また、わかりやすくアプローチし、子育て世代をターゲットに定住促進にもつなげています。本市のSTOP少子化！あんなかプロジェクト本部による少子化対策にも大変参考になると感じました。



令和7年10月24日
兵庫県相生市

空き家対策・道の駅・企業誘致を学びました

行政視察報告 経済建設常任委員会

宮城県栗原市では、老朽化・管理不全の空き家対策で、特定空家の認定から助言・勧告・命令を経て行政代執行に至った事例を確認し、解体費用の一時負担や国庫補助を活用した支援の実情、空き家バンクやリフォーム助成、危険空家等解体補助など多様な支援制度と広報活動の重要性を学びました。



令和7年10月8日
宮城県栗原市

令和7年10月9日
宮城県大崎市
(あ・ら・伊達な道の駅)



宮城県大崎市に所在する「あ・ら・伊達な道の駅」では、地元特産品の充実や民間主体の運営、テナント支援・イベント開催による高い集客力を要因とする売上と70%超のリピート率につながっている点が示され、独自性を打ち出す運営方針の重要性を確認しました。

岩手県北上市では、産業団地整備や企業誘致、半導体関連人材育成施設(I-SPARK)などの人材確保策が紹介され、産業振興と雇用確保が地域活性化の鍵であるとの示唆を得ました。本市でもこれらを参考に市長のトップセールスによる企業誘致や本社機能の本市への移転などの実現が求められます。



令和7年10月10日
岩手県北上市